

編集幹事への要請で既発表のものに一部加筆(2015.06)した。

1)は 2010.02.05「海友フォーラム」第9回懇談会にて講演発表(Power Point 29 駒)したものに解説をくわえて報告書形式に編集の上、「海友フォーラム」hp 掲載されているものである。

## 1. はしがき

1.1 現在、世界で海事博物館の拡充、新設が報じられている。

新設例では、昨年(2009年)暮れに開館した中国・国立海事博物館、工事中で2012年オープン of Elsinor, Denmark、韓国など。計画中は中東アブダビ、拡張は2012年ロンドン・オリンピックにあわせた英国ロンドン・グリニッジの National Maritime Museum などがある。

1.2 世界の海事博物館連携の活動 活動中の世界各国の海事博物館の世界組織として ICMM( International Congress of Maritime Museum)がある。

1.3 ICMM 報告から見える活動の傾向 各国の海上活動保存船 Alive Heritage による青少年 PR 活動が盛ん、アメリカでの観客減少、ヴァイキング復元船による実験航海ほか。

1.4 日本で、今こそ造船技術海事博物館 建設を !!

1.5 ハードと共にソフトも充実した、見習うべき NMM の底力。

1.6 K シニア・保存活動の発展を 造船技術発展軌跡のハードとソフトの体系的保存。などについて考える。

## 2. 英国の事例

国立海事博物館(National Maritime Museum, NMM)と国立科学博物館・運輸部門、更に自然史博物館、産業博物館(Transport 部門)などがある。そのほかに日本のように各地に海軍関係、造船、海運など多数の海事博物館がある。

2.1 NMM ロンドン市内、グリニッジにある世界屈指の海事博物館。水運と密接に結びついてきたグリニッジの歴史的建造物群は、1997年世界遺産に登録されている。

1) 3部門から構成されている。 Maritime Galleries(我々の直接的対象)、 Royal Observatory,

Greenwich - 天文台  
17世紀 Queen's House

創立 1934年。開館 1937年。床面積 81万 m<sup>2</sup>、展示 200万件

### 第 図



2) 拡張計画 - 2012年ロンドン・オリンピックまでに、「A Sea Change・・・」として。

3) 豊富なレパートリ

一と内容 芸術、地図作成法、写本、船の模型と見取り図、科学機器および航法計器、計時や天文学機器（天文台に保管）など、英国海洋史において最も重要と考えられる世界有数の秘蔵品を保管。

**4) 膨大なソフト・蔵書量** 15世紀に遡る図書館の所蔵書籍、海図、海事資料、公私の歴史関連資料文献、科学、海事器具、等の総数は10万点を下らず、質と量に於いて世界topとみなされる。

National Maritime Museum, NMM



**5) ソフト力** 博物館・図書館・研究組織的なソフト力を含め網羅的内容が世界屈指の海事博物館のゆえんである。

**6) カティーサーク号の復元**

1869年に建造され、高速ティー・クリッパーとして活躍した。Loa=86m。グリニツチ近郊に、1950年から保存展示されていたが、改修工事中の2007年5月21日に船首部などのみを残してほぼ全焼(原因：作業現

場に放置された掃除機の電源消し忘れ)。然し、2012年のロンドン・オリンピックまでに完成を目指す復元工事が決定された。復元費用の4,600万ポンド(約65億円, 140円/£として)のうち英政府支出は僅か300万ポンド(約6.5%)で後の93.5%にあたる4,300万ポンドは民間の寄付によるといふ(wikipedia)。復元完成後2012年4月再open。



第2, 3図 NMM とカティーサーク号 (火災消失前)

**7) 現在の組織** Royal Museumsの中に National Maritime Museum、Royal Observatory(王立天文台)、The Queen's House、Cutty Sark、以外は無料。2013-14(2013年度、~2014.3End)の1年間の来場者数、世界より250万人。

**2.2 英国・国立科学博物館**  
Science Museum  
NMMのほかに同じくロンド



Science Museum 英国・国立科学博物館

ロンドン・サウスケンジントン

部門 - - -  
Art, Energy, Environment, Medicine and Biology, Space, Transport

第4図

ン市内に 160 年近くの歴史を持ち、運輸関連の豊富な展示を擁する Science Museum がある。「英国立科学産業博物館 National Museum of Science and Industry」に属す。

「英 1 8 5 1 年に開催された第 1 回万国博覧会の収益金で「サウス・ケンジントン博物館」

」を 1 8 5 7 年に公開。1 8 7 0 年代には「王立造船船舶学校」から機械模型や造船の過程を示す構造模型などが移された。

現在、博物館は、五つのフロアからなり、それぞれ天文学、気象学、生化学、電磁気学、航海学、航空学と写真術を展示している。

第二次世界大戦中の休館を経て、1946 年 2 月に開館。

現在、英国立科学産業博物館には年間 3 0 0 万人の利用者。船舶関連の実物機器、エンジン類の実体展示は迫力がある。実に充実していると感心した、のは昔の見学記憶である。

### 3. 独立行政法人・国立科学博物館・東京

**3.1 設立**・・・1877 年(明治 10)、日本で最も歴史のある博物館の一つで、国立の唯一の総合科学博物館。

**3.2 施設**・・・上野本館をはじめ 5 地区(第 6 図)、

## 英国 科学博物館 Science Museum 英国、London、サウスケンジントン

1857年設立。

国立科学産業博物館 (National Museum of Science and Industry) に属する科学博物館。

産業革命など技術と産業・社会の関わりをテーマとして展示。

ジェームズ・ワットの蒸気機関の実物が動態保存され展示されている。

この他に自然史博物館、産業博物館(Transport部門)などがある。



ユーリス蒸気機関

第 5 図 Science Museum

### 第 6 図 国立科学博物館



第 7 図

**3.3活動**・・・調査研究、標本資料の収集・保管、展示、学習支援活動自然史及び科学技術史研究の世界の中核的拠点、また日本の中心的博物館として活動。

**3.4所蔵**・・・約380万点

**3.5沿革**・・・文部省博物館の観覧施設として湯島聖堂内に博物館を設置、平成13年4月 独立行政法人国立科学博物館となる 我々に関連ある組織としてつぎ2つがある――

**3.6 理工学研究部 科学技術史グループ、産業技術史資料情報センター**

我が国の産業技術の歴史に関する資料の収集、評価、保存、公開、及び重要科学技術史資料の台帳への登録、並びにこれらに係る情報の提供を行っている。また、全国の産業系博物館とネットワークを形成し、我が国の産業技術の歴史に関する情報拠点として活動。「産業技術の歴史産業技術史資料データベース」(<http://sts.kahaku.go.jp/>)など様々な情報を発信。

**4.ハンブルグ国際海事博物館**

International  
Maritime  
Museum  
Hamburg, IMMH

比較的新しく、  
2008年開設。  
海事史 3,000  
年の収集品  
を展示。

**4.1 場所**・・・ド  
イツ ハンブルグ  
港湾地区、展示  
面積・・・ 11,000  
m<sup>2</sup>

**ハンブルグ国際海事博物館**

開設:**2008年** 7階建、  
展示;通常船舶、軍用の  
資料充実、最大級。  
、  
実物船舶・軍艦なし。膨大  
な数の船舶模型、海軍軍  
服多数。**山本五十六**関係  
もあり。  
近くにはUボートの現物  
を見学できるスポットがあり。



第8図 IMMH

2010.2 岡本 洋 1

**4.2 展示、ほか**・・・船舶模型 26,000隻、構造図面 5万件、絵画など5千点、フィルム2千本、



ハンブルグ海事博物館  
展示の模型船

2010.2

第9-1図  
IMMH  
展示



写真 150万点、図書 12万冊、航海機器多数、制服類、その他海事器具多数。  
(かつてハンブルグで見学した海事博物館は、床が現図場を再現したユニークなものだったが、hp上では現状を確認できなかった。(この博物館 IMMH は現実に

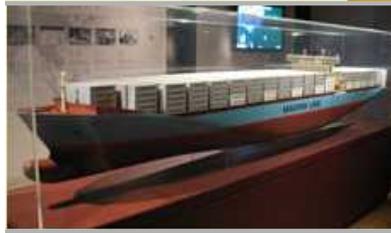
は見えない)

### 4.3 IMMH の展示より

第9-2 図  
IMMH  
展示



ハンブルグ海事博物館



第9-3 図  
IMMH  
展示

ハンブルグ海事博物館



第9-4 図  
IMMH  
帝国海軍の模  
型関係の展示



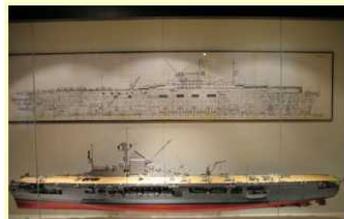
ハンブルグ海事博物館

収蔵の範囲の広さの様子が  
うかがえる。

## 5. 船の科学館・東京

5.1 設立・・・昭和42年4月

5.2 運営・・・財団法人日本船舶振興会は博物館事業の実施運営団体として財団法人日本海  
事科学振興財団を設立。5.3 目的・・・船の科学館」は、次代を担う青少年に、人類の文化と経



済の発展に大きく貢献する『船』への理解と認識を深めるとともに、限りない未来に対する夢を育むことを目的として建設。本来の設立趣旨の性格上、退役実船・機器、模型などの展示が中心で青少年への啓蒙、PR 的性格が強いように思われる。船舶の建造の背景・技術的中身などに関するソフト面にまでに範囲を広げることが望まれる。

第 10 図 本館



## 船の科学館

東京・臨海副都心・東八潮



館内 模型展示



第 11 図  
展示船と本館

東京都品川区東八潮3番1号、新交通「ゆりかもめ」新橋駅(17分)、豊洲駅(14分)より「船の科学館駅」下車。

第 12 図  
展示の一部

2015年6月現在、屋外展示場の見学は可能だが、本館はリニューアル準備のため展示公開を休止中。然し、一部は別館に展示中。Hp 掲載の下記参照

## 船の科学館 展示 東京



船体構造・実物(部分)

現物展示

潜水艦コーナー

現在リニューアル準備中の本館にて展示しておりました資料の一部を展示公開いたします。客船や貨物船、海上保安庁巡視船や海上自衛隊イージス艦などの様々な船舶模型を展示し、にっぽんの海の海底地形模型や各種映像展示や、船の科学館出版資料の販売も行っています。

**5.3 船の科学館の国内ネットワーク活動**国内海事博物館のリーダー的な立場としてネットワーク活動がおこなわれている。日本財団補助事業が多い。「海と船の企画展」支援事業、「海と船の巡回展」の公募をおこなっている。

**1)国内の海と船の博物館の紹介**

夫々の館へのリンク(動画、その他)が張られていて有用。然し、一部では行われているケースもあるが、更に進んで、国内海事博物館の全体の所蔵内容を視野に入れたデータベースの拡充、テーマ別など縦・横から見た、分類整理が出来ればネットワークの価値は高まる。

**国内の海事博物館とのネットワーク活動の例** 平成21年度「海と船の巡回展」

函館市灯台資料館	(北海道)	平成21年4/24~6/3
笠沙恵比寿	(鹿児島県)	平成21年6/6~7/26
兵庫県立歴史博物館	(兵庫県)	平成21年7/8~9/26
ぐんまこどもの国児童会館	(群馬県)	平成21年8/2~9/1
青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸	(青森県)	平成21年9/5~11/3
なにわの海の時空館	(大阪)	平成21年9/29~10/28
三菱みなとみらい技術館	(神奈川県)	平成22年1/6~3/15
きしわだ自然資料館	(大阪)	平成22年1/19~3/14

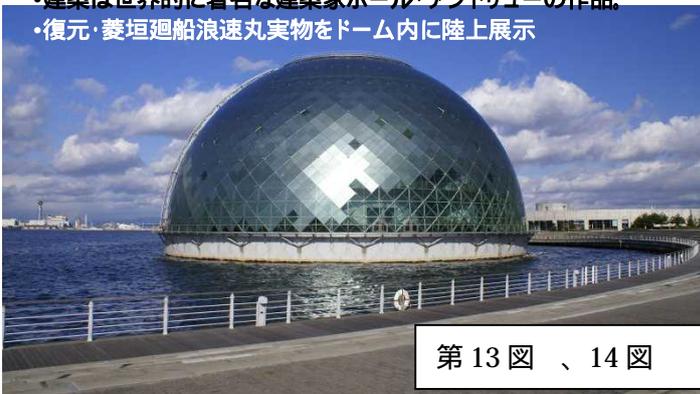
内容は不詳、平成22年以降略同様と思われるが、不詳。中々判りにくい。

**6.その他の国内の海事博物館 例**

**6.1「なにわの海の時空館」大阪市立の船舶・海運・海洋をテーマとする海事博物館**

**なにわの海の時空館**

- ・大阪南港咲洲 市制100周年記念事業として建設・開館2000年。
- ・建築は世界的に著名な建築家ポール・アンドリュウの作品。
- ・復元・菱垣廻船浪速丸実物をドーム内に陸上展示



第13図、14図

1)大阪南港の埋立地にある特異な建物で眼を惹く。展示の目玉はドーム内に陸上展示されている「実物復元・菱垣廻船・浪速丸」とドーム部へは地下(海底)通路か



らという特異な構造。更に収蔵資料の拡充・更新とソフト活動の充実が望まれる。江戸時代の建造当時の手法そのままに、本物の”木の船”として復元された(1999.7.10 進水)。浪速丸と命名された完成後各種の海上実船性能試験が行われた(~1999.8.1)。この復元と実船(帆走)試験を直接間接にリードされたのは復元建造監修委員の故大阪大学名誉教授野本謙作氏(1925~2002)で、計測は主に阪大長谷川研究室、広大小瀬研究室、日立造船技研であり、MTSには終始関係した関係者も多い。その後陸



第15図

菱垣廻船 浪速丸

実物大復元船の陸上展示

揚げ館内に展示された。

\*\*「なにわの海の時空館」の閉鎖 当館は2000年開館。2006年度より大阪ガスピッチ株式会社が管理運営受託中の所、2013年3月10日をもって閉館。大阪市は入館者低迷、財政圧迫を理由として発表。新たな利活用事業者を募集中としている。

箱モノは実に立派で英国構造技術者協会から2002年に特別賞を受賞しているが、場所の不便の声を聴くが展示、運営に魅力が無いが、残念な事態である。

## 6.2 南極観測船「ふじ」の退役実船展示。



## 7. 世界の海事博物館の連携、International Congress of Maritime Museum ICMMの活動概要

### 7.1 組織・・・世界の海事博物館の国際会議組織。

1)目的・・・海事遺産の保存に関する海事博物館の組織・関係個人の国際友好協調、組織協力・相互理解の増進。

### 2)会議開催履歴

2年毎に海事博物館所在地にて開催

第17図 ICMM 2009 開催



## ICMM 開催地

2009年 エスビャウ Esbjerg, Denmark  
2007年 マルタ Malta  
2005年 オークランド Auckland, New Zealand  
2003年 ファルマス Falmouth, UK



### 3)メンバー：

約 77 機関。主要国の参加機関数内訳  
3)国/機関数=日本  
1(船の科学館)、  
USA 19、

UK 14、豪 7、オランダ 6、フィンランド 4、ルーマニア 3、

.....その後、2011 年はワシントン USA、2013 年は Cascais, Portugal で開催された。2015 年は 11 月 1~6 日香港で開催の予定。香港海事博物館が Congress のホストを務める。

第 18 図  
ICMM 開催地

## 8.国際博物館会議・International Council of Museum, ICOM

**8.1 設立**・・・ICOM は 1946 年に設立。147 カ国におよそ 15,000 人のメンバーを有す。

**8.2 組織**・・・ICOM は、国際的なレベルで、博物館および博物館専門職のプロモーションと、収集、保存、研究、広報、展示、教育の活動を発展につとめる世界組織。ICOM は UNESCO と公式な協力関係を結んでいる非政府団体 (NGO) で、国連の経済社会委員会の顧問としての役割を果たしている。

ICOM 日本委員会は、事務所を財団法人日本博物館協会内。委員長は国立科学博物館長。ICOM の下には 29 の専門委員会がある。関連するものとしては次のものがある。

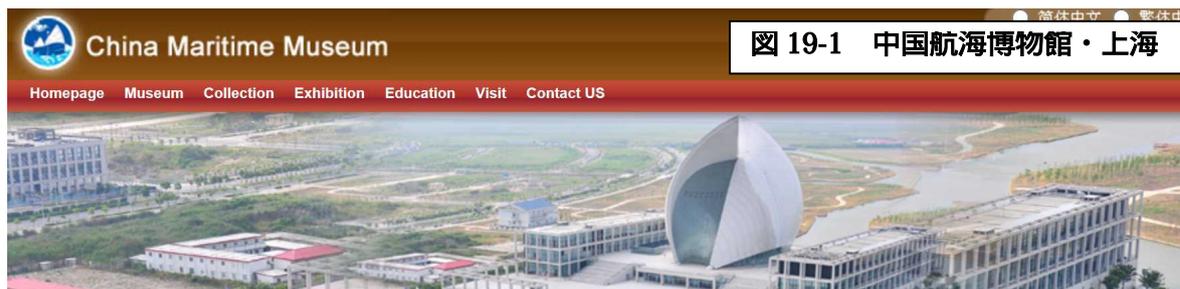
### 8.3 科学技術関連の専門委員会 CIMUSET

**International Committee for Museums and Collections of Science and Technology**  
科学技術の博物館とコレクション国際委員会 CIMUSET は、科学技術分野の博物館専門職で構成され、歴史的資料を収集する伝統的な科学技術博物館と、主として子供と若者に科学技術を普及し、その知識の増進に努める科学センターの双方のためのもの。年次会議を開いる。非常に大きな組織である。

**8.4 メンバー**・・・116 の国内委員会と、25 の国際委員会の活動に参加。国内委員会の中には、活動を強化するために地域レベルで組織されているものもある。

**8.5 運営**・・・ICOM は非営利団体であり、活動資金は主にメンバーの寄付によってまかなわれる。また、UNESCO の博物館のためのプログラムや、公的機関・民間からの資金提供を受けている。本部はパリ。文化財保存に関連して、多くの国際機関と連携。

## 9.中国、韓国の海事博物館



9.1 中国・新・海事博物館 上海。

1)開設 中国交通省と上海市の共同設立、中国唯一の国立海事博物館。2006年10月に設立準備室設置。2008年上半期に主要部分が完成、2010年7月5日正式open。上海万博(2010.5.1～**2010.10.3**)の会期に間に合い開館。

2)場所 上海の黄海周辺の上海臨海新城、東海大橋詰め南匯区、大学キャンパス隣接地。

敷地 24,830 m<sup>2</sup>、床面積 46,434 m<sup>2</sup>

3)施設 中国初の国家レベル海事博物館、室内展示 21,000 m<sup>2</sup>、屋外 6,000 m<sup>2</sup> 博物館。館内は5つの建物に別れ、計12の展示ブースのほかプラネタリウム館、4D映画館、学術報告ホールなどが併設される。



図 19-2 中国航海博物館・上海

## 9.2 天津に海洋博物館新設決定

2014年10月23日天津市は国家海洋博物館の基本設計と16億元(316億円、中国元 19.77円)の投資概算を正式に認可した。

要地 15万m<sup>2</sup>、建築 8万m<sup>2</sup>。建設中といわれるが不詳。

## 韓国海洋大学博物館



第 20 図 韓国海洋大学附属博物館

## 9.3 韓国の海事博物館

1)海洋大学博物館(既存) 釜山市影島区東三洞 1 (第 20 図) 韓国海洋大学附属博物館

2)国立海洋博物館(新設) 釜山市島影区東三洞 1125、右図  
1)に近い場所

(1)起工 2010.01.29 2

(2)開館 2012.5 予定。



国立海洋博物館の完成予想図＝(聯合ニュース)

第 21-1 図 計画全景

起工式について韓国メディアは、次のように報道している -

「世界初の総合海洋博物館となる国立海洋博物館の起工式が釜山で行われた。

場所は釜山の東三洞(場所は市南部の影島区)、建物は4階建。ここは、船舶博物館、海洋自然史博物館、海洋生物博物館の海洋アクアリウムを統合した世界初の総合海洋博物館になる計画で、2012年5月の麗水国際博覧会の開幕と同時開館予定。海洋図書館と子ども博物館をはじめ、海洋文化と歴史などをひと目で観覧できる常設展示館も設置される。賃貸型の民間投資事業(BTL)方式とし、総額1142億ウォン

(約888億円)。国土海洋部は開館前までに、展示・所蔵用の海洋遺物を総額123億ウォン(約96億円)を投入し確保する予定。新・博物館が開館されれば、毎年約70万~80万人の国内外観光客が入場し、海洋文化観光産業育成と地域経済活性化に役立つと、国土海洋部は期待している。

東三洞の革新都市は、国立海洋博物館、韓国海洋研究院、韓国海洋水産開発院、国立海洋調査院など、文化・教育・研究・行政関連の13機関が入居し、韓国の代表的海洋分野研究・教育クラスターとして造成される」

(2010.01.29 Konet)

(2010.02.02 Pusan naviによる)。

\*\* (次頁(3)発展計画参照)

各国の最近までの海事博

物館事情などを調査したとの報道もあるので、世界一をめざしてかなり先進的なものができるのではないか、と思われる。

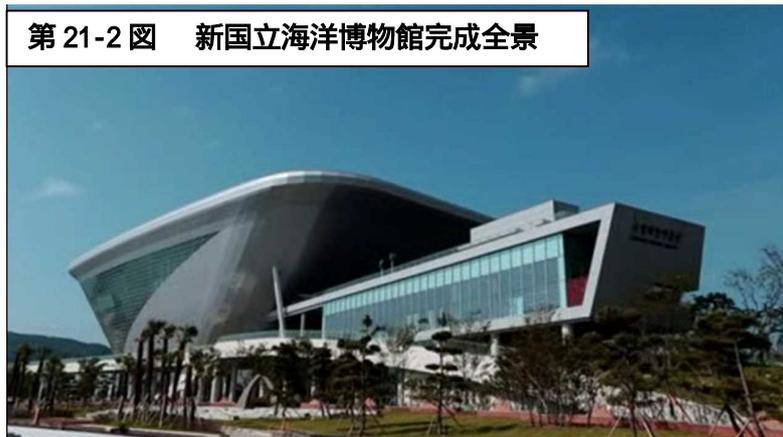
### (3)追記・2015.06

予定より2か月遅れて2012年7月9日開館。

釜山広域市影島区海洋路301番地45(東三洞1125)

<http://www.knmm.or.kr/jp/n/main/main.aspx>

第 21-2 図 新国立海洋博物館完成全景



第 21 2 図 館内展示

釜山市中心街と釜山港



第 21 図 3 釜山・影島区全体俯瞰

敷地 45,444 m<sup>2</sup>、建築延べ面積 25,870 m<sup>2</sup>(地下 1 階、地上 4 階)、

遺物、展示品：1 万点、各種図書 2 万冊、1/2 縮尺の朝鮮通信使船。入館料=無料。

\*\* 発展計画 第 21 図 3 に示す影島は市街の南に位置し橋で結ばれており面積 14 km<sup>2</sup>・人口 14 万人、中心に約 400m の蓬莱山がある。関係機関集中移転計画について、韓国海洋科学技術院の関係幹部はそれを認めたが(2015.06)、その具体的内容の開示はまだ受けていない。

## 10. 外国の動きと論壇 ICMM 2009 発表論文概要 編集文責、2010.3 岡本 洋

ICMM 2009 は 2009 年 10 月 5-9 日、デンマーク西岸の港町エスビャウで開かれた。

会議の主題は、時代変化の認識 不確実性への対応( Understanding Change –Coping with Uncertainty)。開会の辞 デンマーク・文化相 カリナ・クリステンセン。

発表された 17 編の標題と概要以下のとおり。

### 10.1. デンマーク、新海事博物館 「Denmark's New Maritime Museum」 by Jørgen Selmer(デン

マーク)、Danish Maritime Museum, Elsinor, Denmark

2012 年に open 予定。  
Elsinor 造船所のドックを利用。地下 7,600 m<sup>2</sup>。メイン展示面積 2,500 m<sup>2</sup>。

この他に古い海事博物館は Elsinor の Kronborg 城。



### 10.2. グダンスク海事博物館の取り組み

「Taking full advantage of the opportunities offered by change —How we in Gdansk are coping with uncertainty」

by Jerzy

Litwin(ポーランド)、Polish Maritime Museum



### 10.3. 動態遺産

「Operational heritage —economic millstone or opportunity for reaching new audiences..」

Alan Edenborough. (オーストラリア)、

Sydney Heritage Fleet

The World Ship Trust は 2,000 隻以上の歴史的船舶の登録をしている。歴史的船舶の展示の希望がたかまっている。これらの船舶の活用を論



じている。

#### 10.4. バイキング・ロングシップの試験航海

「The Sea Stallion Experiment」

Damgård-Søensen(デンマーク),

The Viking Ship Museum, Roskilde, Denmark

デンマークのロスキレ(コペンハーゲンの近く)からアイルランド・ダブリン までの往復試験航海が2007~08年にかけて行われた。西欧に広く知られた国際イベントの紹介。



#### 10.5. 観客減少対策としての変革 「Changing our Course without Losing our Audiences」

.Stuart Parnes(アメリカ)、 Chesapeake Bay Maritime Museum, USA

チェサピーク湾で失われつつあるボート・漁船の保存のために1960年代に開館した、館員30人の中規模の戶外博物館。18エーカーの棧橋保有、年間予算約3億円。40年間評価の高い展示や過去の価値ある海事事実を伝えてきた。然し、最近になって住民の文化、生活がドラマチックに変わってきた。アメリカの海事を含む歴史博物館の入場者が減少。その理由は ( は岡本 の感想)

- 1). 国家の焦点が科学と技術に向かっている。従って小学校から大学院までアカデミック優先に。
- 2). 家庭内活動、家庭内勉強、自身ハンド体験の傾向が高まる。
- 3). 競争が高まり、自由時間が少なくなる。競争社会は大人から子供まで余裕無く走っている?
- 4). 米国自由主義の様相の変化 西欧出身のホワイト・アメリカ人がもはや多くの州で少数派にろうとしている。新人類は歴史に興味と関心を持つ教養を忘れた、ということか?
- 5). アメリカ海事企業はその数も印象もすくなくつたー海はもはやレジャーの場所ではない。
- 6). そして、経済情勢 新自由主義と経済不況 ?

我々も変わらねばならない。サポートしてくれている6千家族をはじめ環境、生物歴史専門家、館員、来館者と共に検討。近隣の歴史博物館とも連携。チェンジは危険かもしれないがチェンジが必要。来館者の増加と彼らの支持をうることをめざして。 アメリカも変わったか、感慨深い報告。



#### 10.6. 特質化より総合化へ、戦略的収集「From idiosyncratic to integrated: Strategic planning for collections」

Dr. James Gardner(アメリカ)、 National Museum of American History, Smithsonian Institution

多くの博物館にとって最大のテーマは、知的枠組みを発展させることであり、収集戦略について明確に理論化することである。

#### 10.7. 博物館保存船の廃棄

「Demise of the Museum Ship Wawona: Settling an Historic Ship's Fate」

Nathaniel Howe (アメリカ)、 Northwest Seaport (Seattle, USA).

112歳になる Wawona 号の処分についての報告。シアトルの North West Sea Port の Flag Ship, Pacific Schooner, 国の遺産船舶登録されているこの船は2009年3月、遂に解体ヤードに持ち込まれた。



#### 10.8. 博物館の興行主義 と 挑戦精神

「The Entrepreneurial Museum and the Wild Spirits?」

Matthew Tanner MBE (英国), ss Great Britain Trust.

博物館に於ける興行主義はチャンスでもあり、また障害にもなるが、発展には新しいものへの挑戦も必要、という論旨らしい。

11.9. 観客より関係者へ「From Audience to connectives」

Karin Brandt (オランダ), National Maritime Museum, Amsterdam, Netherlands 内容は略。

11.10. 「The MARIMUS Project –Next step in the pursuit of a Vision」 by Morten Hahn-Pedersen

(デンマーク), Fisheries and Maritime Museum, Esbjerg, Denmark 内容は略。

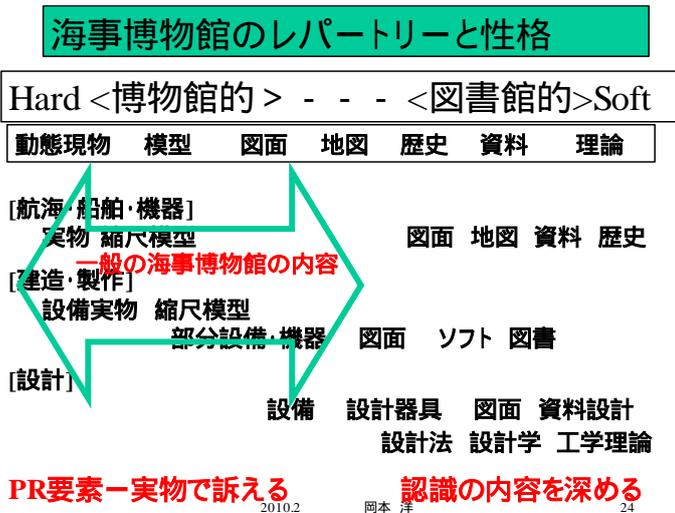
11.11. 収集の管理と充実「Management and Enrichment」 Jean-Noel (フランス), Musee National de la Marine, Paris, Frans

1748年創設、フランス国立海事博物館 Mnm(パリ)は世界最古に属するコレクション。その収集についての管理と拡充について。 内容は略。以下略。

博物館の持続的維持管理について参考になる問題点の議論であって、参考になる。

11. 考察とまとめ

11.1 海事博物館のソフト力、ソフト指向充実を



海事博物館の使命は、 収集・保管、 展示・教育、 研究調査である。

まず の収集物件の質と量が最重要であるが、ここではそのレパートリーを左図のように考えた。

海事博物館の理想は、左図の全域をカバーする事が求められるのは勿論だが、加えて、その物の実現を求めた社会の背景、

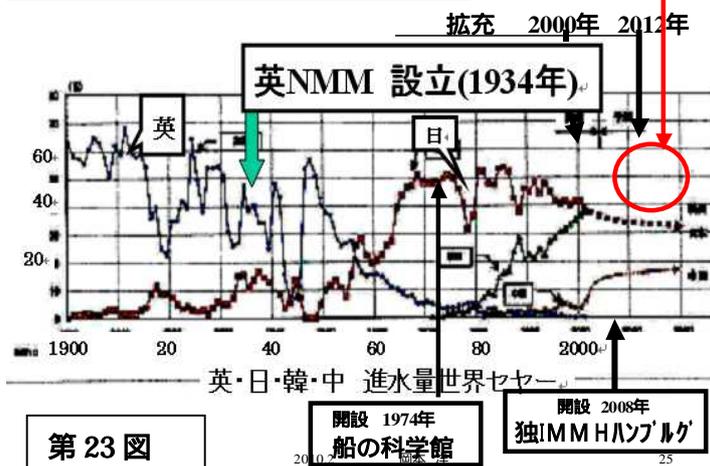
第 22 図

又それを可能にした技術への連想を誘導するようなポテンシャルが望まれる思う。

戦後多くの博物館が建設されたが、箱物施設と共に Hard に偏る傾向がある、と指摘されることが多いのは残念な事である。

造船セヤー推移と海事博物館

韓・中新興国 開設



第 23 図

2010.7

25

## 11.2 造船技術博物館の建設への想い

英国のNMMの建設時期と新造船建造セヤーとの関係を見たのが前頁第23図である。NMMの建設時期は英国の造船力にかけりが見え始めた時期にあたる。日本の場合、造船最盛期に開館した「船の科学館」は実船実機類の展示で大きな特徴を持ち、設立趣旨にあるように青少年への啓蒙の比重が高くまた国内海事博物館のリーダー的存在として活躍している。

しかし、20世紀において、建造量と技術革新において世界をリードしてきた我国の造船界は、21世紀にはいって韓国、中国の台頭を受けて新しい時代に入ろうとして居る。このような転換の時代とNMMの設立とその後の発展、韓国などの新海洋博物館着工などを考え合わせると、日本の現状は不十分と考えられるので、更にソフト指向を高めた本格的な海事博物館の存在が望まれる。

このような状況下において、K シニア・造船資料・用具の調査・保存委員会の活動は、造船技術の資料保存、伝承に重点を置きおり、ここに述べた考察から大いに有意義な活動といえる。今後の、活動の発展と成果が期待される。

## 11.3 結び

前節(10.外国の動きと論壇)で取り上げたICMM関連の1~11の各項目は、海事博物館の現代的で継続的なこれからの海事博物館経営に深い示唆を与えるものと思う。我が国においては、存在感の大きい「船の科学館」も充実した展示内容と主として青少年向けのPR活動が評価されるいっぽうで、展示実船の保守は相当の負担になっているらしいことがわかる。リニューアルによる一部休館も基本方針が明確にはみえない。一方で、大阪市の「なにわの海の時空館」の閉鎖はこの潜在的な難問の象徴といえよう。ICMMの活動は大いに参考になるものとおもう。

海事博物館の特徴として、船舶を工学的視点に重点を置いた日本(韓国・中国も?)と、それに対して航海の視点からみよとする北欧(西欧)の大きな二面性を見ることができる。

又、海事博物館の運用形態として、韓国の釜山・東三洞の革新都市は、「文化・教育・研究・行政関連の13機関が入居し、韓国の代表的海洋分野研究・教育クラスターとして造成される」という理念は稍行政的且アカデミック色を感じさせるが、一つの理想型を示している様に思われる。(おわり)

## 参考文献 一部簡単な紹介

- 1.「海事博物館の点描 そこから見えるもの」岡本 洋 「海友フォーラム」2010.2  
<http://www.jasnaoe.or.jp/k-senior/groups/kaiyuu/rondan-index.html> 論壇掲載 2010/05/28
- 2.英王立海事博物館 National Maritime Museum. ◆Royal Museum Greenwich,  
<http://www.rmg.co.uk/>  
◆[https://en.wikipedia.org/wiki/National\\_Maritime\\_Museum](https://en.wikipedia.org/wiki/National_Maritime_Museum)◆Annual Report 2013-14,  
Nato[http://www.rmg.co.uk/sites/default/files/nmm\\_annual\\_report\\_and\\_accounts\\_2013-14.pdf](http://www.rmg.co.uk/sites/default/files/nmm_annual_report_and_accounts_2013-14.pdf)
- 3.Science Museum,London ◆<http://www.sciencemuseum.org.uk/>  
◆[https://en.wikipedia.org/wiki/Science\\_Museum,\\_London](https://en.wikipedia.org/wiki/Science_Museum,_London) ◆wikipedia.  
◆Science Museum Group,Annual Report 2013-14  
[http://www.sciencemuseum.org.uk/about\\_us/smg/corporate/](http://www.sciencemuseum.org.uk/about_us/smg/corporate/) /media/BF6E9213553246B9  
B7BC6A29271BD0A3.ashx
- 4.英国、アイルランド内の海事博物館 約290の海事博物館、museum shipがある。次のweb サイトにはアルファベット順にリストされている。Nationalを冠するものは数百万£の予算を持っているが小さいものは地域に所属しボランティア運営のものまでである。  
Museum, Index, Maps, Notes, Link の項目について、よく整備されまとめられている。  
一つの文化として定着していることがみてとれる。海洋国家英国の底辺をみる思いである。

<http://people.ds.cam.ac.uk/mhe1000/museums.htm>

5. 世界海事博物館と Navy page

◆Smith's Master Index to Maritime Museum Websites

<http://www.maritimemuseums.net/europe.html> 全世界の各地域・国・都市別 63 の下に各 Museum の概要と写真、Navy page の膨大な資料が収められている。Link によつてそれが更にひろがってゆく。然し、日本に関する内容は、Navy page が主体で、海事 Museum のリストとしては、その内容は完全ではない。外国については、かなり網羅的に調べられている様に思われる。以下は、その中から特に Europe のみに着目して、概要を示した。

◆ヨーロッパの海事関係博物館

Europe 各国の国名、Maritime Museum の数( )内に示す。多すぎるので、その中から代表的と思われるものを恣意的にピックアップした。( )内表示の数には、造船所付属・潜水艦関連 Museum、更に Navy page も含まれる。膨大な内容で調べきれない。

\*United Kingdom England(34),Scotland(1),Wales(1)。( )内は Museum の数、\*Belgium.(1) National Maritime Museum:(ANTWERP)、\*Crete.(1)―、\*Denmark.(4) 、\*Estonia.(1)―、\*Finland.(1)―、\*France.(1) The Navy Museum of Brest、\*Greece(2)―、\*Germany.(3) German Maritime Museum:(Bremerhaven)、German Maritime Museum:(Bremerhaven)、National Museum - Germany:(MUNICH)、\*Italy.(3) Naval History Museum (Museo Storico Navale) & Arsenale (VENICE)、Galata Museum of the Sea (GENOA)、\*Malta.(1)―、\*Netherlands.(6) Dutch Naval Museum Den Helder:、Maritiem Museum Prins Hendrik Rotterdam:、Maritiem Museum Prins Hendrik Rotterdam:、\*Norway,(1)―、\*Poland,(1)―、\*Russia,(3) Russian Naval History - The History of Russian Navy、\*Spain,(1)―、\*Sweden,(8) Goteborgs Maritima Centrum:(Gothenburg)、The Maritime Museum At Brantevik:、Maritime Museum in Sweden:、National Maritime Museum and the Vasa Museum:、\*Trieste,(1)―、\*Turkey,(1) 、

6. 「なにわの海の時空館」 wikipedia、

[http://syra.aero.kyushu-u.ac.jp/memorial\\_prof\\_nomoto/obituary.html](http://syra.aero.kyushu-u.ac.jp/memorial_prof_nomoto/obituary.html)

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryu/port/0000200308.html>

7. China Maritime Museum <http://www.shmmc.com.cn/english/index.aspx>

8. Viking Museum

[http://www.vikingskibsmuseet.dk/en/about-vikingskibsmuseetdk/#.VY3\\_rCww8dc](http://www.vikingskibsmuseet.dk/en/about-vikingskibsmuseetdk/#.VY3_rCww8dc)

9. 国立科学博物館 <https://ja.wikipedia.org/>

10. ハンブルグ国際海事博物館

<http://www.imm-hamburg.de/international/en/foundation.php>

[https://en.wikipedia.org/wiki/Internationales\\_Maritimes\\_Museum\\_Hamburg](https://en.wikipedia.org/wiki/Internationales_Maritimes_Museum_Hamburg)

11. 船の科学館 <http://www.funokagakukan.or.jp/>

<http://www.funokagakukan.or.jp/s-smuseumnet/>

12. なにわのうみの時空館 wikipedia

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryu/port/0000200308.html>

[http://syra.aero.kyushu-u.ac.jp/memorial\\_prof\\_nomoto/obituary.html](http://syra.aero.kyushu-u.ac.jp/memorial_prof_nomoto/obituary.html)

<http://kiziosaka.seesaa.net/article/296753995.html>

13. ICM <http://www.icmmonline.org/> . . .

ICM Biennial Congress Past Congress,Future Congress

14. VIKING MUSEUM <http://www.vikingskibsmuseet.dk/en/>

15. 韓国の海事関係博物館

1). 国立海洋文化財研究所 (1994 年開館の国立海洋遺物展示館を 2009 年に改名誕生)、韓国の水中遺産を担当する唯一の政府機関。全羅南道 木浦市 南農路 136、

[http://www.seamuse.go.kr/seamuseweb/html/HtmlPage.do?pg=/JP/aboutus/sub06\\_03.html&mn=JP\\_06\\_03](http://www.seamuse.go.kr/seamuseweb/html/HtmlPage.do?pg=/JP/aboutus/sub06_03.html&mn=JP_06_03)

2)釜山海洋大學 [http://english.kmou.ac.kr/english/2013/kmou/kmou\\_01.jsp](http://english.kmou.ac.kr/english/2013/kmou/kmou_01.jsp)

以上